

日语口译教程

修 订 本

苏 琦 编著



商 务 印 书 馆

日语口译教程

(修订本)

苏 琦 编著

商 务 印 书 馆
2000 年·北京

图书在版编目(CIP)数据

日语口译教程/苏琦编著.—2 版(修订本).—北京:商务印书馆,2000

ISBN 7-100-02916-3

I. 日... II. 苏... III. 日语 - 口译 - 教材 IV. H365.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(1999)第 46620 号

RI YU KOU YI JIAO CHENG

日语口译教程

(修订本)

苏 琦 编著

商 务 印 书 馆 出 版

(北京王府井大街 36 号 邮政编码 100710)

商 务 印 书 馆 发 行

中 国 科 学 院 印 刷 厂 印 刷

ISBN 7-100-02916-3 / H·748

1982 年 6 月第 1 版 开本 850×1168 1/32

2000 年 6 月第 2 版 印张 10 5/8

2000 年 6 月北京第 14 次印刷 印数 5 000 册

定价: 18.00 元

修订版前言

从 1982 年《日语口译教程》由商务印书馆出版以来已经 16 年了。这 16 年中，全国不少外语院校采用了这本教材。对此，编者深感欣慰，深受鼓舞。但同时随着国内外形势的发展和日语口译教学的需要，也认识到对这本教材进行修订的必要性；作为出版者的商务印书馆也大力支持修订，并已一再催促。只是由于在日本执教和忙于《日语常用词搭配词典》的编纂工作，一直未能如愿，直至现在。

这次修订是在两个基础上进行的，一是在本人和其他教师讲授这本教材的实践基础上，二是在调查研究目前日语口译实践的基础上。本教材并不是一本包罗万象的口译参考资料的汇编，而是为了使学生学到一些口译工作的基本方法，培养学生口译工作的能力，掌握一些接待工作中最基本的口译知识和技能，尤其是从日语口语的语言特点出发，使他们能比较熟练地掌握敬语的使用，为以后的口译工作打下扎实的基础。口译课是一门听说译三方面相结合，进行综合练习的实践课。翻译工作并不是懂得两种语言就能做的。翻译要正确理解原文的意思，而又能用另一种语言恰当地表达出来，而且还能体会出原文的特色和优点，要克服语言文化背景所形成的困难。所以“译者对原文有字字了解而无字字译出的责任”。“译者所应忠实的不是原文的零字，而是零字所组成的语意”。这些原版初次尝试的论点在修改中仍将保留和遵循。在这个基础上，修改过程中强调了“要精，要实用”的原则，将内容更贴近现实生活，更接近口译实际，篇幅上有所压缩，篇目上有所

增加，以使更符合教学实际，以取得更好的教学效果。

一本教材总是在使用过程中不断进行修改，才能更趋完善，这是首次修订，不周之处，势所必然，编者虽然在多方面帮助下已倾其全力，但由于水平有限，肯定还有一些缺点或谬误，欢迎批评指正。

苏 琦

1999年7月

1982年初版前言

1979年教育部在大连召开了日语教材会议，会议确定由北京第二外国语学院编写一本日语口译教材。

北京第二外国语学院日语专业于1972年试开口译课，自1974年正式设置该课程。我曾为此编写过一本口译教材，并担任了讲授。本书便是在这本教材的基础上重新改写，并增添了一些课文，使书编得更充实、更实用一些，不光为在校的同学上课用，也想为目前正在从事口译工作的同志提供一些可供参考的资料，但仍以作为教材为主。我想，这教材不宜编成一个包罗万象的口译参考资料的汇编，而只能是通过若干实例，使书的使用者学到一些口译工作的基本方法，掌握一般接待工作中最基本的口译技能和熟巧，尤其是从日语口语的特点出发，使他们能较熟练地掌握敬语的使用，为口译工作打下较扎实的基础。因此本书安排了在机场的迎接、商谈日程、宴会、买东西、看京戏、离京去外地和回国之前等课。编写时不仅考虑了口语的语言特点和规律，而且还介绍了一些日本的有关礼节和习惯；并且配合课文，在每一课后作为类语，附上了用于不同场合的各种说法，同时也附上一批有关单词。

口译课是一门听说译三方面进行综合练习的实践课，须在学生掌握相当数量的词汇、句型和基本语法，并已有一定听说训练的基础上进行。看来这门课程设在第三学年比较合适，约需七十二学时，本书共十五课，每课四到五学时。口译所用的是口头语言，

尽量避免书面语言。中日两国语言文字在词类、句法构造、修辞规律等方面都是不同的。“译者对于原文有字字了解而无字字译出的责任”“译者所应忠实的不是原文的零字，而是零字所组成的语意”，笔译如此，口译也应如此。本书的译文是这些论点的初步尝试。口译一般说来是更能体现语言的交际功能，似可比笔译更灵活些，在课堂实践中可采取各种生动活泼的形式。

初稿完成后，全国外语院校教材编审委员会日语组委托宋文军教授主持了审稿会，会上给予很多的鼓励和帮助。对这些鼓励，我是受之有愧的；对这些帮助我表示由衷的感谢。这本书如果对日语教学工作有所用处的话，应当归于教育部抓了教材编写工作，并且和宋文军、孙宗光、李德、高山等教授、副教授的帮助分不开的。但由于时间匆促，水平有限，难免有不少错误和缺点，欢迎批评指正。

苏 璦
1981年5月

目 次

第 1 課 出迎え.....	1
第 2 課 市内に向かう.....	11
第 3 課 ホテルに向かう.....	20
第 4 課 ホテルで(一).....	30
第 5 課 ホテルで(二).....	39
第 6 課 両替をする.....	49
第 7 課 スケジュールの調整	57
第 8 課 市民の足.....	66
第 9 課 街の服装.....	74
第 10 課 日本語の勉強.....	83
第 11 課 天安門広場.....	91
第 12 課 北京ダックに招待する(一)	98
第 13 課 北京ダックに招待する(二)	108
第 14 課 宴会でのあいさつ(一)	117
第 15 課 宴会でのあいさつ(二)	122
第 16 課 朝の公園	126
第 17 課 表敬訪問	133
第 18 課 万里の長城を見物する	141
第 19 課 街に出かけて	147
第 20 課 住宅事情	157
第 21 課 教育について	165

第 22 課	中国の女性と結婚	174
第 23 課	家計と消費ブーム	181
第 24 課	街のレストランで	189
第 25 課	中国のお茶も緑茶?	203
第 26 課	中国では宗教は?	209
第 27 課	中国のお正月——春節	218
第 28 課	子供は一人だけ?	225
第 29 課	病気したときは?	234
第 30 課	空港への見送り	247

参考译文

第 1 课	机场迎接	255
第 2 课	驶向市区	258
第 3 课	开往宾馆	260
第 4 课	在宾馆(一)	263
第 5 课	在宾馆(二)	265
第 6 课	兑换外币	268
第 7 课	调整日程	270
第 8 课	市内交通	273
第 9 课	街上的服装	276
第 10 课	学说日语	278
第 11 课	天安门广场	280
第 12 课	招待吃烤鸭(一)	283
第 13 课	招待吃烤鸭(二)	285
第 14 课	宴席上的致词(一)	288

第 15 课	宴席上的致词(二)	290
第 16 课	公园的早晨	291
第 17 课	拜会	294
第 18 课	游览长城	297
第 19 课	漫谈市场	300
第 20 课	住房问题	302
第 21 课	话说教育	305
第 22 课	中国的妇女与结婚	307
第 23 课	家计和消费“热”	310
第 24 课	街头便餐	312
第 25 课	中国茶主要是绿茶吗?	315
第 26 课	宗教在中国	317
第 27 课	中国的新年——春节	320
第 28 课	一家一个孩子吗?	323
第 29 课	病了怎么办?	325
第 30 课	机场送行	328

第1課 出迎え

- 高 あの、失礼ですが、日本経済訪中代表団の方でいらっしゃいますか。
- 浅野 はい、そうです。
- 高 わたしたち中国○○○○○○のものですが、団長さんの浅野さんは…(どちら様でしょうか)。
- 浅野 はい、わたしが浅野です。
- 高 あ、浅野さんでいらっしゃいますか。ようこそおいでくださいました。ご紹介いたします。こちらは中国○○○○○○副会長の王健民(さん)です。
(中国側の責任者に向かって)この方が団長の浅野信一さんです。
- 王 始めまして。王です。遠いところをようこそいらっしゃいました。
- 浅野 始めまして。浅野です。わざわざお出迎え恐れ入ります。
- 王 どういたしました。心からお待ちしております。
(歩き出す)

- 高 お荷物お持ちしましょうか。
- 浅野 いや、いいですよ。別にたいしたものもありませんから。
- 王 皆さん、朝が早かったので、さぞお疲れになりましたでしょう。
- 浅野 いえ。それこそひと飛びですから、ちっとも…(疲れていません)。飛行機の中でもけっこう居眠りしましたし…。
- 王 そうですか。それはようございました。
- 浅野 それはそうと、北京はいいお天気ですね。
- 王 はい。朝のうちは曇り気味でしたが、昼ごろからすっかり晴れて、こんないいお天気になりました。お天気も皆さまのご来訪を歓迎していると見えますね。
- 浅野 それはどうも。ありがたいことです。
(貴賓休憩室に着く)
- 高 さあ、どうぞ。皆様、しばらくここでお茶でも召し上がりながら一休みなさってください。その間に荷物のほうの手続きなどを済ませて参りますから。
- 一同 それはどうもありがとうございます。
- 王 さ、お茶をどうぞ。
- 浅野 はい、いただきます。(一口飲んで)いや、中国のお茶もけっこうおいしいですね。
- 王 たばこはいかがですか。これは「紅塔山」といって、

雲南省のたばこですが。

浅野 はい、ありがとうございます。実は私も愛煙家だったんですがね。

王 とおっしゃいますと?

浅野 はい、もう止めてから五、六年になります。

王 あ、禁煙されたのですか。でも、それはいいことですよね。たばこっていうのは「百害あって一利なし」ですからね。

浅野 いや、おっしゃる通りです。いま日本では嫌煙権がだいぶ幅を利かせていましてね。東京の山手線など駅の構内が禁煙になりました。会社によってはオフィスをノースモーキングにしたり、喫煙者の給料を差し引いたりしているところもあるんですよ。

王 ほーう。随分思いきったことをやっているんですね。その点中国はまだまだです。

浅野 こちらではたばこ党は多いですか。

王 多いですね。特に若い人に多いようです。都会では、お年寄りのほうは減る傾向にあります。

浅野 やっぱり健康によくありませんからね。

X X X

高 (話し中の一人に)あのう、お話し中失礼ですが…。

平井 はい、なにか…。

- 高 あの、皆様の入国や通関の手続きをいたしますので、パスポートと托送のチケットをしばらくお預かりしたいんですが。
- 平井 はい、わかりました。すぐ集めます。少々お待ちください。(しばらくして)はい、お待たせしました。全部でパスポートが10冊と、それにチケットが1枚です。
- 高 (数えた後)はい、パスポートが10に、チケットが12ですね。確かに預かりました。手続きが終わり次第すぐお返しします。
- 平井 よろしくお願ひします。
- (手続きが終わって)
- 高 手続きが終わりました。先ほどのパスポートをお返しします。お確かめください。
- 平井 はい、間違いありません。お世話をかけました。
- 高 それからお部屋はみな7階にとってあります、その割り当ては如何いたしましょうか。701号は応接室つきですので、団長さんはこの部屋とし、後は名簿順で、石田さん、吉川さん、佐久間さんがそれぞれ702、703、704号室というふうに、710号室までということでよろしいでしょうか。
- 平井 はい、それでけっこうです。
- 高 それではそういうことで、お荷物はそれぞれのお部

屋にお届けいたします。次に車ですが、全部で4台用意しております。団長さんは1号車としまして、後はご自由に乗っていただきましょうか。

平井 承知しました。

高 それでは、これからホテルへご案内いたします。

王 さあ、どうぞ。

浅井 はい。ではお先に。

口语习惯用语^①

(1) 表示欢迎与应答

(A) 表示欢迎

これはようこそ

(やあ) (遠いところを) よく来てくれましたね (长辈
对晚辈)

ようこそいらっしゃいました

ようこそおいでになりました

ようこそおいでくださいました

ようこそお越しくださいました

(～のおいでを) 心からお待ちしておりました

ご来訪を (心から/心より) 歓迎いたします

(この度の) ご来訪に (たいし) 心より歓迎の意を表します

① 注:() 表示可省略或说明, < ⟩ / 表示可替换

(B) 感谢欢迎

(わざわざ) お出迎え (くださり/くださいまして) (どうも) 有難うございます

(お忙しいところを) お出迎え (いただき/いただきまして) たいへん恐縮です

(お忙しい中を) お出迎えいただきましてたいへん感謝しております

(2) 初次见面

はじめまして

はじめてお目にかかります

お目にかかれて (たいへん) うれしいです

お目にかかれて (たいへん) うれしゅうございます (女)

お知り合いになれて (たいへん) うれしく存じます

(3) 表示久违

(やあ/あら) しばらく (ですね)

(やあ/あら) お久しぶり (ですね/でございますね)(女)

(あら/まあ) お懐かしゅうございます (女)

后面常接:

(その後) お変わりありません (ございません) か
お元気ですか

お元気でいらっしゃいますか

(4) 表示拜托

どうぞ<どうか>よろしくお願ひ (いた) します

どうぞ<どうか>よろしくお願ひ申しあげます

なにとぞよろしくお願ひ申しあげます

根据不同情况, 前面常加:

お手数をかけますが

お世話を(お)かけ(し)ますが

お世話になりますが

ご迷惑でしょうが

ご面倒を(お)かけ(し)ますが

ご面倒でしょうが

(誠に) 申しわけありませんが

(5) 请求稍等

ちょっと待ってください

ちょっとお待ちください

しばらくお待ちください

少々お待ちください(ませ)

少々お待ち願います

少々お待ち願えませんか

少々お待ちいただけますか

(6) 让人受等之后

(やあ) お待たせ

(どうも) お待ち遠さま(でした)

(どうも) 失礼(いた)しました

(どうも) お待たせ(いた)しました

(どうも) お待たせしてすみませんでした

(たいへん) お待たせして失礼(いた)しました

(たいへん) お待たせして申しわけございません